

夢物語から実現に向けて

1. はじめに

津市は、日本のほぼ中央に位置する三重県の県都で、年間を通じて温暖な気候で、中部圏と近畿圏の結節点でもあり、道路網、鉄道網、空港アクセス船など交通アクセスに恵まれています。

歴史的にも、日本で最初に市制施行した31市の中の一つであり、今年で市制136年となります。県内の官公庁や文教施設等が集約され、三重県の行政・文教の中心地となっています。

また、観光面でも、日本三大観音の一つである津観音や三重県で初めて国宝に指定された浄土真宗高田派専修寺があり、清少納言の枕草子にも登場する三名泉の一つである榊原温泉・七栗の湯もあります。心身を癒しに津市へお立ち寄りください。

このような津市は、今年が平成の大合併後20年目の節目の年であり、こども・子育て、安全・安心、都市づくりをキーワードに事業展開しています。

2. 未来の安心に向けて

災害への備えに終わりはありません。南海トラフ巨大地震の脅威が目前に大きく立ちのぼるなか、津市で暮らす全ての方々が安心して未来を思い描くことができるよう、ソフトとハードの両面からより高い次元の安全・安心を目指しています。

昨年発生した能登半島地震では、集落の孤立が多く発生し、速やかな救命・救援活動の展開には早急な道路啓開が必要であることが明らかになりました。その気付きを活かし、自衛隊、警察、消

防等の広域応援部隊が救助活動拠点に至る「受援想定ルート」と、救命救助等を行う救急車両が通行する「救急想定ルート」を特定し、発災直後の初動段階で早急に道路啓開に着手することを盛り込んだ「道路啓開計画」を令和7年2月に策定しました。また、「災害時受援計画」は、広域応援部隊の受入れ及び発災後72時間までの市の行動並びに広域応援部隊の円滑な活動のための情報共有や活動調整について盛り込むなど大幅に改訂し、他に類を見ない先進的で極めて実用的な計画に生まれ変わりました。今後さらに、消防団や自主防災組織における大規模災害が発生した際の対応力・実践力を強化してまいります。

また、防災面で平成26年度から11年間にわたり総事業費26億円を投じて進めてきた香良洲高台防災公園が、令和7年3月末に完成しました。



香良洲高台防災公園



地域の水防訓練

当地域は、海と川に囲まれ、その多くが海拔2m以下の三角洲で、大津波等では浸水被害は否めない地域であるため、地元自治会から逃げ遅れた際の避難地として高台造成の要望がありました。地域の方々のご協力もあり、上流域の河川しゅんせつ等の公共事業の建設発生土を活用した盛土で高台防災公園として整備しました。津波災害時の一時避難場所の機能を有する防災公園として、また

津市長 ^{まえ}ば ^{やすゆき}
前葉 泰幸



平時は多目的グラウンド等として活用しています。地域に住む方々の安全・安心の新たなよりどころとなるよう的確な運用に努め、当該公園を活用した防災訓練を重ねてまいります。

3. 新たな姿への期待感

これまで、市民の皆さまが市政に願うことや期待することの実現に向けて邁進してまいりました。そういったなか、昨今、市民の皆さまが抱く願いや期待のレベルが高まっていることを強く感じています。それを象徴しているのが、昨年末に完成したJRの大谷踏切の拡幅です。



以前の大谷踏切



生まれ変わった大谷踏切

平成10年に2.5mの幅員を広げる方針が決まっていたが長年にわたって実現することがなく、狭隘な踏切を何とか譲り合って渡るのが当たり前であった場所が、ついに大きく姿を変えました。変わらないものが変わったことで、これも変わるのではないかと、今より更に暮らしやすい津市に変わっていくのではないかとという期待が市民の皆さまの間で大きく膨らんできているのを実感しています。

道路ネットワークも新たな時代にあるべき姿へと変化しつつあります。

平成28年から整備を進めてきた津興橋（昭和5年架設の元鉄道橋）においては上部工架設工事が完了し、いよいよ新しい橋が姿を現します。

また、長年、夢物語として語られてきた二級河川志登茂川河口架橋を含む都市計画道路河芸町島崎町線（第3工区）の整備は、既に現実のものとして県によって着実に進められています。令和3年度から令和6年度までで路線測量や地質調査等が実施され、津市は要した事業費の半分を負担してきました。橋梁部分については予備設計が完了し、道路詳細設計、用地測量へと進められています。

新たに鉄道との立体交差により東西間をつなごうとする都市計画道路下部田垂水線（上浜工区）については、令和5年8月に県知事との対談にて事業化決定についてご英断をいただき、道路概略検討等が令和6年度の12月補正予算で初めて予算化されました。これは、いよいよ県がこの事業の第一歩を記したことを意味し、津市は、県とともに地元調整などに取り組み、事業促進を図ってまいります。

4. おわりに

「市民の皆さまがそれぞれの幸せを実感し、心豊かで笑顔あふれる人生を送ることができる津市」の実現に向け、市役所一丸となって、取り組んでまいります。

来津の際は、魅力ある自然、歴史、温泉等をご堪能ください。皆さまのお越しをお待ちしています。